

2014年度第2四半期 決算説明会



2014年11月13日

BML 株式会社ビー・エム・エル

2014年度第2四半期業績概要

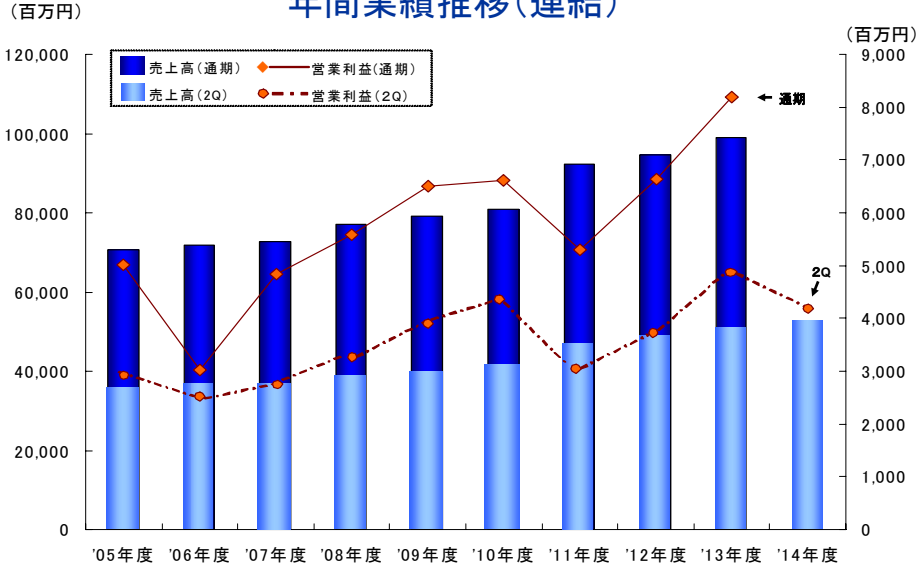
増収減益／修正計画達成

(百万円)

	2013年度 第2Q	2014年度 第2Q	対前年		修正計画	
			前期比	増減率	計画比	
売上高	50,055	52,960	2,904	5.8%	52,800	160
検査事業	48,051	50,439	2,388	5.0%	-	-
臨床検査	46,348	48,604	2,256	4.9%	-	-
その他検査	1,703	1,834	131	7.7%	-	-
医療情報システム	1,905	1,830	-75	-3.9%	-	-
その他事業	98	690	592	603.0%	-	-
営業利益	4,869	4,180	-689	-14.1%	3,870	310
経常利益	5,103	4,368	-734	-14.4%	4,140	228
当期純利益	2,937	2,431	-505	-17.2%	2,210	221

2014年度第2四半期業績概要

年間業績推移(連結)



2014年度第2四半期業績概要

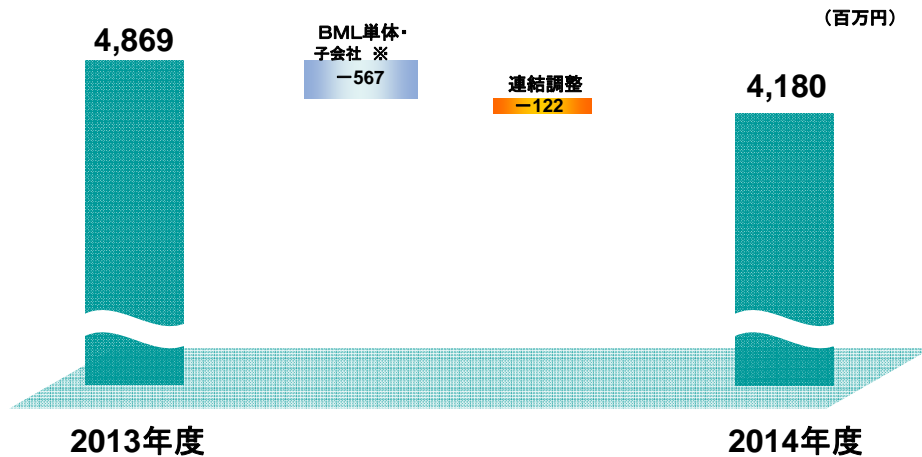
売上高 529億60百万円
前期比 29億4百万円 (5.8%) 増収



※本年4月より(株)岡山医学検査センターが連結子会社化

2014年度第2四半期業績概要

営業利益 41億80百万円
前期比 6億89百万円 (-14.1%) 減益



※岡山医学検査センターのれん代含む

臨床検査事業の概要

売上高486億4百万円
前期比 22億56百万円 (4.9%) 増収

【マイナス要因】

- 今年4月の診療報酬改定
- 消費税増税に伴う受診控え
- 業者間競争激化による価格下落

【プラス要因】

- 新規開拓が堅調に推移
- 重点検査項目の営業推進が売上に貢献
◇アレルギー・甲状腺関連・NT-ProBNP(心不全バイオマーカー) 等
- ㈱岡山医学検査センターの連結子会社化

研究開発活動の概況

▶当社が取り組んでいる開発分野

治療薬に対する薬効・副作用の予測に関する検査を中心に開発

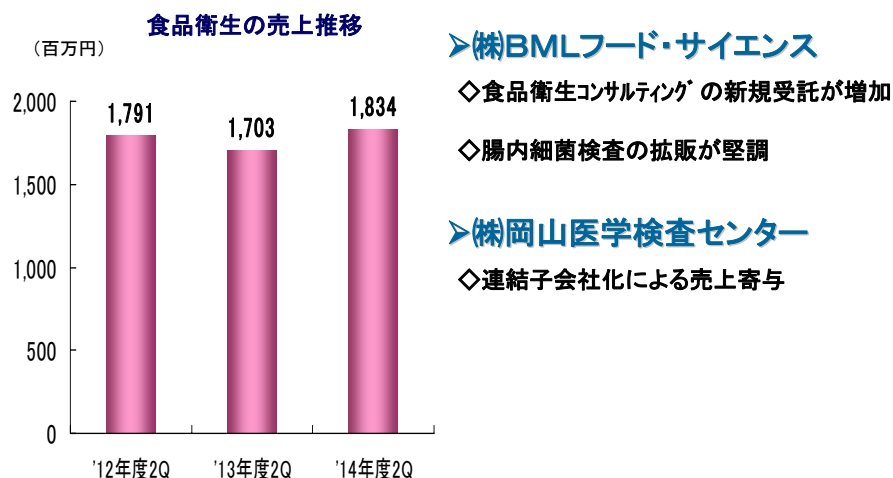
分野	検査項目
がん	EGFR遺伝子変異, ALK融合蛋白, KRAS遺伝子変異, UGT1A1遺伝子多型
白血病	BCR-ABL遺伝子変異
先天性疾患	TTR遺伝子変異
肝炎	HBV薬剤耐性変異, IL-28B遺伝子多型 HCVコア遺伝子変異

▶今期上市した項目

分野	対象疾患	検査項目	対象治療薬	受託開始
肝炎	C型肝炎	HCV薬剤耐性遺伝子 変異 (NS3、NS5A)	アスナプレビル ダクラタスビル	本年7月

その他検査事業(食品衛生)の概要

売上高 18億34百万円
前期比 1億31百万円 (7.7%) 増収

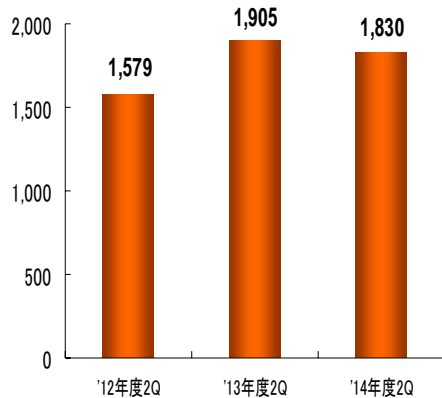


医療情報システム事業(電子カルテ)の概要

売上高 18億30百万円
前期比75百万円 (-3.9%) 減収

電子カルテの売上推移

(百万円)



▶クオリス(Qualis)

◇新規販売が減少したが、
MSからのリプレイスは堅調

▶メディカルステーション(MS)

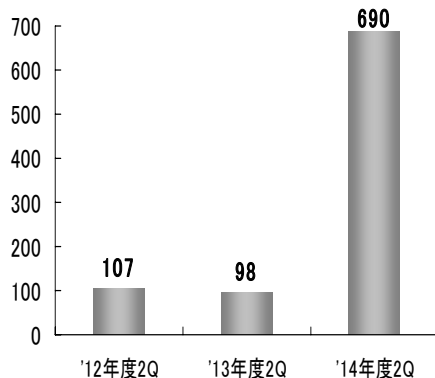
◇新規販売は減少したが、
リプレイスは堅調

その他事業の概要

売上高 6億90百万円
前期比5億92百万円 (603.0%) 増収

その他事業の売上推移

(百万円)



▶(株)アレグロ

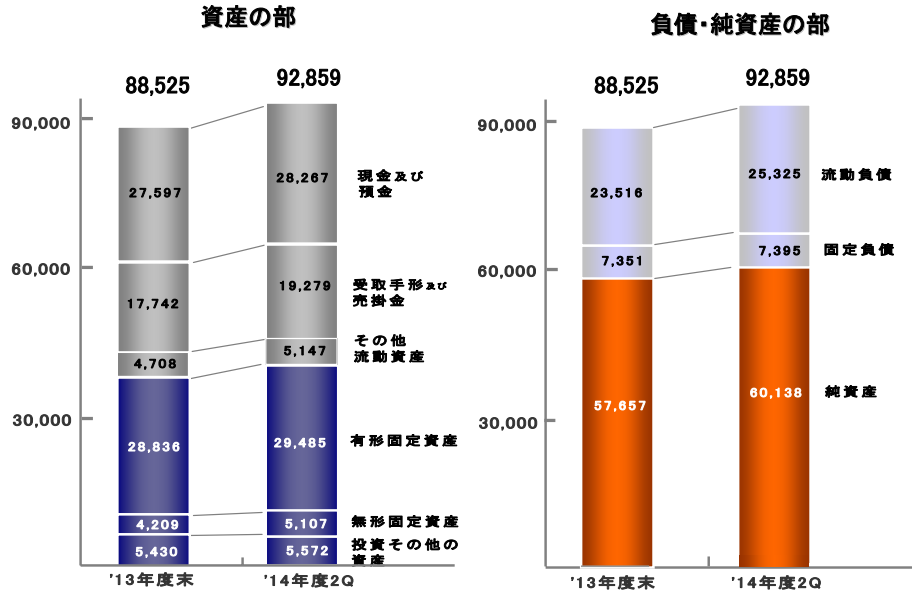
◇治験市場は引き続き厳しい環境が継続
◇収益性を重視した取り組み推進

▶(株)岡山医学検査センター

◇調剤薬局事業売上が寄与

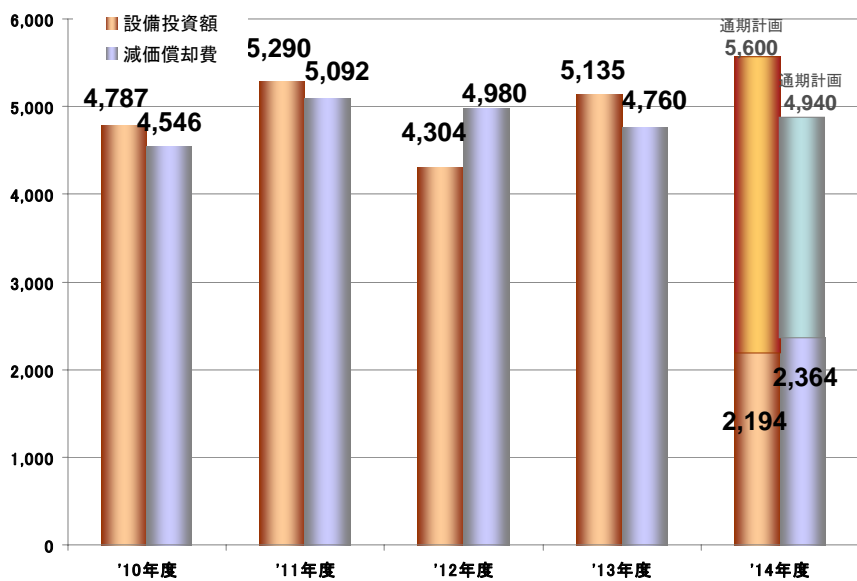
連結貸借対照表の概要

(百万円)



設備投資/減価償却の概要

(百万円)



キャッシュフローの概要

	'13年度 第2Q	'14年度 第2Q	(百万円) 増減
営業活動によるキャッシュフロー	6,102	6,137	34
税金等調整前当期純利益	5,086	4,036	-1,050
減価償却費	2,313	2,408	95
のれん償却額	338	494	156
その他	-1,635	-802	833
投資活動によるキャッシュフロー	95	-3,215	-3,310
定期預金の預入による支出	-2,075	-1,139	936
定期預金の払戻による収入	3,557	2,235	-1,322
有形固定資産の取得による支出	-983	-1,599	-616
無形固定資産の取得による支出	-508	-416	92
連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出	-	-2,167	-2,167
関係会社出資金の払込みによる支出	-	-132	-132
その他	105	4	-101
財務活動によるキャッシュフロー	-1,500	-1,477	22
リース債務の返済による支出	-662	-773	-111
長期借入金の返済による支出	-361	-	361
配当金の支払額	-424	-637	-213
その他	-51	-66	-15
現金及び現金同等物の期首残高	18,102	24,649	6,547
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	271	271
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,800	26,365	3,565

2014年度第3四半期以降の戦略

検査事業

■臨床検査事業

▶クリニック新規獲得による市場拡大

▶重点検査項目の拡販

◇アレルギー、NT-ProBNP、C型肝炎、等

医療情報システム事業

▶クオリスの拡販推進

◇新規開業情報の確実な取得

◇リプレイスの推進

2014年度通期の見通し

(百万円)

	2013年度	2014年度 通期予想	対前年	
			増減額	増減比
売上高	99,047	104,350	5,303	5.4%
検査事業	94,869	99,470	4,601	4.8%
臨床検査	91,162	95,520	4,358	4.8%
その他検査	3,707	3,950	243	6.6%
医療情報システム事業	4,000	3,500	-500	-12.5%
その他事業	176	1,380	1,204	684.1%
営業利益	8,188	6,650	-1,538	-18.8%
経常利益	8,582	7,050	-1,532	-17.9%
当期純利益	4,990	3,810	-1,180	-23.7%

(連結ベース)

当資料取り扱い上の注意点

<将来に関する記述等についてのご注意>

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。

また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。